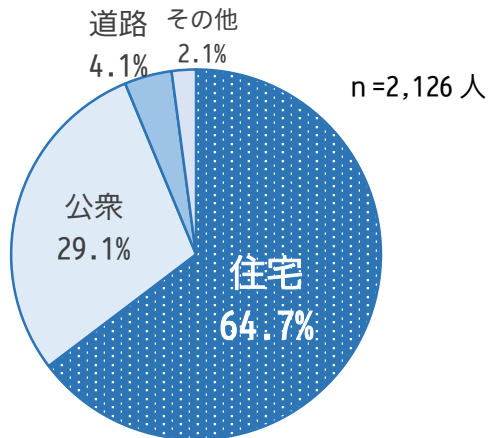




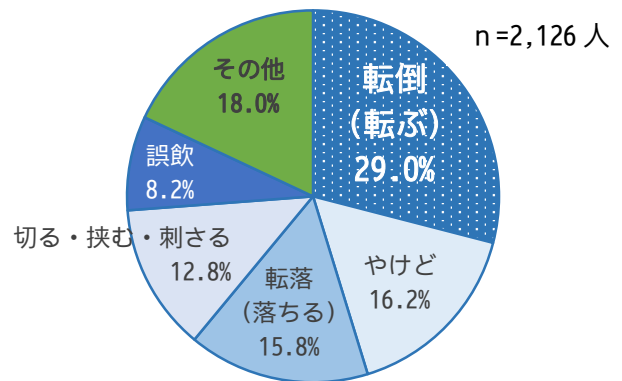
あなたの自宅は大丈夫？ 自宅内での事故から子どもを守ろう！

子どもの一般傷病事故の状況

子ども（0～12歳）が救急搬送された場所



救急搬送された子どもの事故種別



※一般傷病事故とは、交通事故などに分類されない一般的な負傷で、転倒、転落、やけど、誤飲などをいいます。
出典：郡山地方広域消防組合「2010～2019 子どもの事故に関する救急統計データ」



<窓やベランダからの転落に注意！>

窓やベランダの近くに踏み台になるもの（ソファや室外機など）を置かないようにしましょう。

窓に柵を設置したり、ベランダへの出入口のカギをお子さんが外せないように対策をしましょう。



<ブラインドのひもによる窒息に注意！>

ブラインドやカーテンのひもが首に絡まないよう、子供の手が届かない所にまとめ、ソファなど踏み台になるものを近くに置かないようにしましょう。

ひもがない安全性の高い商品を選びましょう。



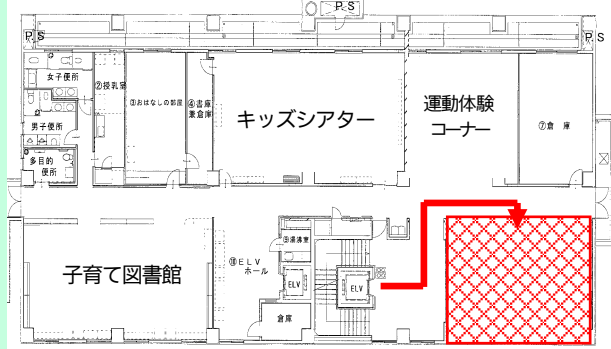
<ドアの開閉による指はさみに注意！>

ドアの開閉時には子どもが近くにいないかよく確認しましょう。

ドアのちょうつがい部分に隙間防止カバーを付けるなど安全対策をしましょう。

自宅での子どもの事故を防ごう！ ニコニコこども館「事故予防モデルルーム」

ニコニコこども館の4階に、自宅での事故が起こりうる状況を再現した「事故予防モデルルーム」があることをご存知ですか？
ぜひ一度、お立ち寄りください！



子どもの事故防止・チェックリスト

住宅（自宅）での子どもの事故は、親の注意や環境づくりによって防ぐことができます。
ご家庭で事故防止ができていますかチェックしてみましょう！

1歳6ヶ月ごろ		3歳ごろ	
項目	チェック	項目	チェック
1 子どもを1人で家や車に残していない。		1 子どもを1人で家や車に残していない。	
2 車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せている。		2 車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せている。	
3 浴槽に水をためたままにしていない。		3 浴槽に水をためたままにしていない。	
4 薬、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置いている。		4 薬、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置いている。	
5 タバコや灰皿はいつも手の届かないところに置いている。		5 タバコや灰皿はいつも手の届かないところに置いている。	
6 ピーナッツや飴などは子どもの手の届かないところに置いている。		6 ピーナッツや飴などは子どもの手の届かないところに置いている。	
7 暖房器具（ストーブ、こたつなど）の熱が直接触れないようにしている。		7 ストーブやヒーターなどは、安全柵で囲い、直接触れないようにしている。	
8 ポットや炊飯器は、子どもの手の届かないところに置いている。		8 お箸や歯ブラシなどをくわえたまま走らせていない。	
9 ベビー用品やおもちゃを購入するとき、デザインよりも安全性を重視している。		9 すべり台やブランコの安全な乗り方を教えている。	
10 階段に転倒防止柵を取り付けている。		10 ベランダや窓のそばに踏み台になるようなものを置いていない。	

（出典：厚生労働省 健やか親子21）

子どもの事故防止ハンドブック・カレンダーをご活用ください！

消費者庁の「子どもを事故から守る！事故防止ポータル」から「事故防止ハンドブック」や「事故防止カレンダー」のダウンロードができますのでご活用ください。



【発行：郡山市セーフコミュニティ推進協議会「こどもの安全対策委員会」】